



中 田 小

令和8年9月 30 日

学校教育目標

さわやか笑顔 中田っ子

～思い合い ひびきあい 共に生きる力を育てます～

中田小ホームページ

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nakada/>

「見える発信」から「ともに考える発信」へ

校長 荒井 智津子

昨年度の学校評価アンケートでは、「子どもたちは意欲的に学習に参加している」という項目に対して、保護者の皆様から約 2 割の「わからない」「あまりそう思わない」というご回答をいただきました。私たちはこの結果を真摯に受け止めるとともに、子どもたちの学校での様子や学びの過程、成長の姿を十分にお伝えできていなかったことが一因ではないかと考えました。

そこで今年度、改善の一つとして力を入れているのが**「発信」**です。学校だよりやホームページ、すぐーのタイムライン等を活用し、できるだけタイムリーに学校の様子をお伝えすることで、完成した成果だけではなく、子どもたちが何を考え、どのように取り組み、どのように成長しているのか、その過程も含めて伝えられる発信を目指しています。

現在、ホームページで発信している内容の多くは、10月に迫った運動会に向けた取組です。今年度の運動会は、これまでの2部制から午前中1部制へと変更して実施する、初めての運動会となります。しかし、私たちが大切にしたいのは、単に運動会の「形」を変えることではありません。

かけっこが苦手な子、ダンスを恥ずかしいと感じる子、練習が好きではない子、運動が好きなお子、運動会を心待ちにしている子、自分の役割に責任をもって取り組む子。701人の子どもたちの中には、実にさまざまな思いや考えがあります。

だからこそ、私たちは改めて問い続けています。

「全員が輝ける運動会とは、どのような運動会なのだろう」

全員が同じことを、同じようにできることだけが「輝く」ということではないはず。



一生懸命走ること。仲間と力を合わせる。誰かを応援すること。悔しい気持ちと向き合うこと。苦手なことにも自分なりの方法で挑戦すること。

そうした一人ひとり異なるがんばりや成長に目を向けることこそ、運動会の大切な価値の一つではないかと考えています。

ホームページでお伝えしたいのも、当日の華やかな姿だけではありません。そこに至るまでに、子どもたちが何を考え、友達とどのようにかわり、悩みながらも自分なりの一歩を踏み出してきたのか。そうした姿こそが、子どもたちの主体的な学びや成長を考えていただくための大切な材料になるのではないのでしょうか。

私たちは、学校から一方的に「理解してください」と発信したいのではありません。発信を通して子どもたちの日々の姿を共有しながら、「子どもたちにとってよりよい学校とは何か」「よりよい行事とは何か」子どもたちの学びと成長を真ん中に置きながら、保護者や地域の皆様とともに考えていきたいと思っています。